

授 業 科目名	【 G 】	憲法(人権) I	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	憲法(人権) I	選 択 必 修			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	基本的人権総論 幸福追求権 法の下 の平等				担当者	小林 伸一		
授業概要	【概要】	基本的人権の思想、歴史を概観した後、公共の福祉や人権の私人間効力といったすべての人権に関わることになるテーマを取り上げる。そのうえで、13条の幸福追求権と14条の法の下 の平等について、通説に従いながら講述する。						
	【到達目標】	日本国憲法上の基本的人権を支える思想、歴史を理解した後、公共の福祉をはじめとする人権総論上の主要なテーマに関する学説、判例を修得する。そのうえで、幸福追求権と法の下 の平等のそれぞれについて具体的内容と限界(法的制約の違憲審査基準)を把握する。						
履修条件	本講義は、受講生すべてが憲法概論の単位を取得していること、並びに本講に続き憲法(人権)Ⅱを履修することの2点を前提に進める。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	本憲法(人権)Ⅰは、受講者全員が憲法概論の単位を取得していることを前提にして進める。また、憲法(人権)Ⅱでは、基本的人権各論が講述される。したがって同講義は、本講義の応用編である。							
教科書	芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第八版』(岩波書店 2023年) 適宜、Google Classroom上に講義レジュメを提示する。							
参考書	高橋和之著『立憲主義と日本国憲法第5版』(有斐閣 2020年) 宍戸常寿・巻美矢記・安西文雄著『憲法学読本 第4版』(有斐閣 2024年)							
評価方法	本試験として2回にわたる課題を提示しその成績を基に評価を行う。1回目は11月第1週目、2回目は来年1月第1週目にそれぞれ本講義のclassroom上に出							
フィードバック 方法	講義内容の節目節目で質問や意見を受け付け、これに回答する。							
評価基準	本講の趣旨・内容につき、これを十分に把握し、そのことが本試験に対する解答に顕著に反映されていると判断できる受講生は、「S」または「A」とする。講義内容の理解が必ずしも十分とはいえず、しかも解答上の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて「B」または「C」とする。講義内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが解答内容・表現に如実に表れている受講生は、その程度に応じて「D」または「E」とする。正当な理由なく課題の解答をしなかった受講生は、「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	憲法（人権） I	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	憲法（人権） I	選 択 必 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 近代人権宣言の歴史と思想						
	予習：	77頁～79頁		復習：	自然権論 社会契約論 フランス人権宣言 アメリカ権利宣言		
2	現代人権宣言と思想						
	予習：	79頁～81頁		復習：	外見的人権 法律の留保 社会国家思想 ワイマール憲法		
3	日本国憲法における基本的人権の特質						
	予習：	82頁～85頁		復習：	人権の固有性・不可侵性・普遍性・永久性		
4	日本国憲法が保障する人権の内容						
	予習：	85頁～90頁		復習：	基本的人権の6分類 制度的保障		
5	基本的人権の享有主体その1 天皇 法人						
	予習：	89頁～94頁		復習：	天皇・皇族の象徴としての地位 皇室典範 八幡製鉄事件最高裁判所大法廷判決		
6	基本的人権の享有主体性その2 外国人						
	予習：	94頁～100頁		復習：	権利性質説 マクリーン事件 東京都管理職事件		
7	基本的人権の限界その1 公共の福祉に関する初期の学説						
	予習：	101頁～103頁		復習：	一元的外在制約説 内在・外在二元的制約説		
8	基本的人権の限界その2 公共の福祉に関する現在の通説						
	予習：	103頁～109頁		復習：	一元的内在制約説 比較衡量論 二重の基準論		
9	基本的人権の私人間効力その1 初期の学説						
	予習：	113頁～119頁		復習：	無効力説 直接適用説 公法・私法二元論		
10	基本的人権の私人間効力その2 現在の通説						
	予習：	114頁～121頁		復習：	間接適用説 三菱樹脂事件 昭和女子大学事件 事実行為		
11	幸福追求権その1 人格的利益説 京都府学連事件						
	予習：	122頁～126頁		復習：	個人の人格的生存 個人の自律的決定		
12	幸福追求権その2 プライバシー権						
	予習：	120頁～123頁		復習：	情報プライバシー権 自己情報コントロール権		
13	幸福追求権その3 自己決定権						
	予習：	133頁～134頁		復習：	広義のプライバシー権 性同一性障害特例法事件 旧優生保護法事件		
14	法の下での平等その1 法の下での平等の意義						
	予習：	134頁～138頁		復習：	法内容平等説 法適用平等説 相対的平等		
15	法の下での平等その2 平等違反の違憲審査基準						
	予習：	138頁～159頁		復習：	合理的区別の基準 民主主義的合理性の基準 夫婦同氏強制事件 投票価値不均衡事件		
その他	受講生は、Google Classroom上に提示される講義レジュメや資料をダウンロードしプリントアウトできるようネット環境を整えること。 予習・復習は、各120分程度を目安としてください。 ※G・Hカリ:【選択必修(D)】						